

# オープンガバメント/データによる 知識創生

東京大学公共政策大学院

奥村裕一

2014年3月17日

# 目次

1. 米国 オープンガバメント+オープンデータ
2. 英国 オープンデータ
3. G8サミット・オープンデータ憲章
4. 日本政府の原則
5. 影の立役者
6. 国際推進団体
7. オープンデータ三要件
8. 市民参加政策形成三要件(検討中)

# 米国 オバマ政権

## 第一期 第二期



- オープンガバメント三原則表明(2009年1月)  
＜デジタル時代の政府の姿＞ 大統領署名の覚書
  - 政府は国民に対して透明になる→オープンデータ
  - 国民が政策決定に参加する→参加型民主主義
  - 国民と協働する→公共サービスの担い手の拡大
- オープンデータ大統領指令(2013年5月)
  - 政府の情報はオープンで機会読取可能にする＜目的＞
  - ①オープンな政府の状態が民主主義を強化
  - ②行政サービスの効率と効果を向上
  - ③経済成長に寄与

# 英国政府 オープンデータ推進

## ＜ブラウン政権＞

- オープンデータの前哨
  - “Power of Information” Taskforce 2008年4月
- Data.gov.uk 試行版 2010年1月

## ＜キャメロン政権＞

- 引き継いでオープンデータを強化
- 昨年G8サミットでオープンデータ憲章策定

# 2013年G8サミット オープンデータ憲章

1. オープンデータを政府・自治体の標準設定とする
2. データの質と量を改善する
  - 時宜を得た、包括的かつ正確な質の高いオープンデータ
3. すべての者に利用可能とする
  - 無料で、制約のないもの
4. ガバナンス改善のためにデータを公開する
  - 民主主義プロセスの強化
5. イノベーションのためにデータを公開する
  - 民間でデータ活用のイノベーション、産業育成

# 日本政府のオープンデータ原則

## 2013年7月 IT戦略本部

- ① 政府自ら積極的に公共データを公開
- ② 機械判読可能な形式で公開
- ③ 営利目的、非営利目的を問わず活用を促進
- ④ 取組可能な公共データから速やかに公開等の具体的な取組に着手し、成果を確実に蓄積

# 影の立役者(人)

Ellen S. Miller



Beth S. Noveck



Rufus Pollock Laura James



Sir Tim Berners-Lee



Carl Malamud



Tim O'Reilly



Joshua Tauberer





# Joshua Tauberer

A civic hacker\* in Washington, DC



In 2004 I launched [GovTrack](#), a government transparency website for the U.S. Congress, and I have been tracking Congress ever since.

My part-time/consulting work currently includes [LA](#) (a structural engineering company) and the [D.C. Office of the General](#)



My book [Open Government Data Book](#) (2012) discusses the power of the open government data movement in the United States, including the challenges of transparency and civic engagement, legal history, data quality, and paradoxes in transparency.

I also co-organize [Open Data Day](#) each year, support other hackathons, and am a member of Code for DC.



# 影の立役者(NPO)

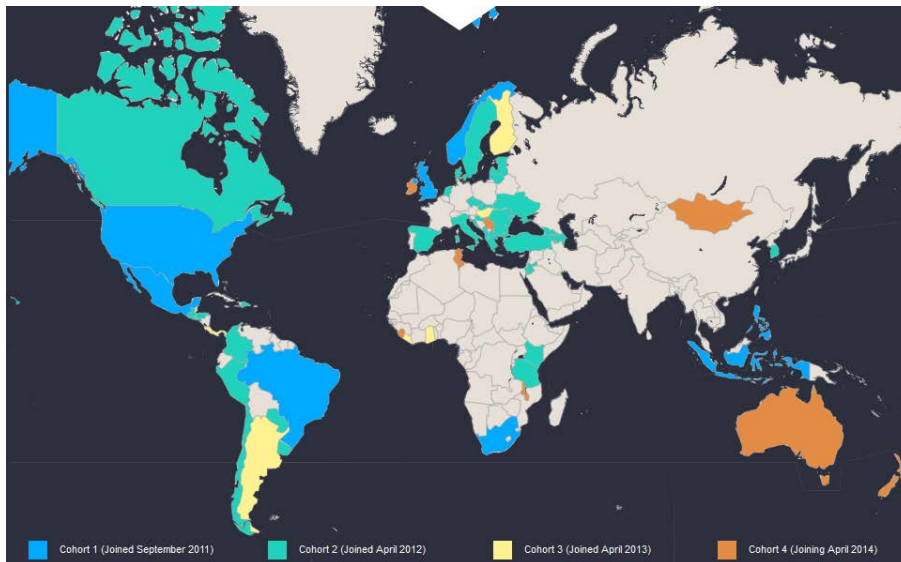


Open Knowledge  
Foundation



などなど

# 国際推進団体



## <主幹事>

ブラジル: 企画・予算・管理省

フィリピン: 予算・管理省

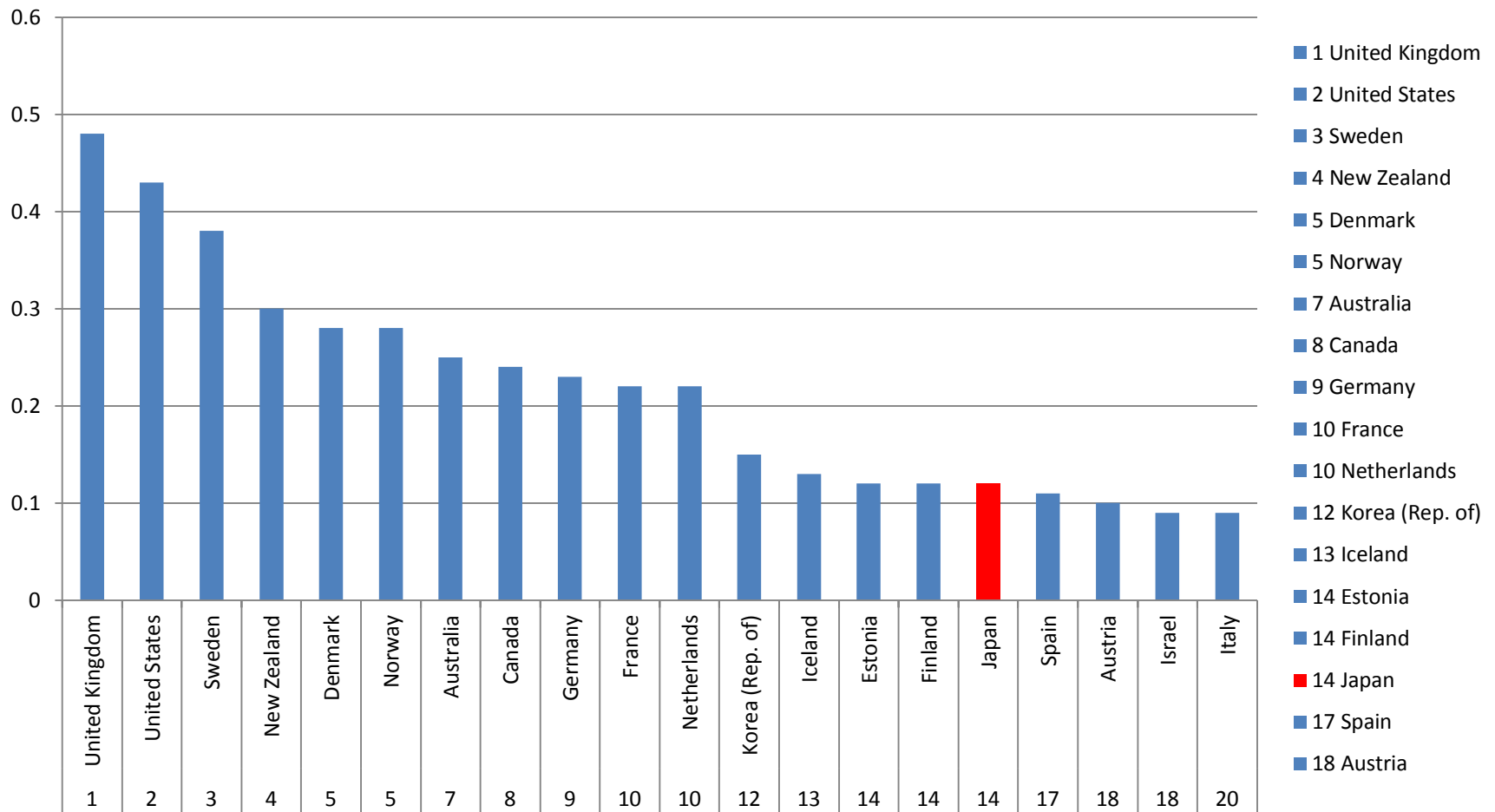
世界銀行、IMF

## <コーディネーター>



# オープンデータ国際ランキング (Open Data Barometer 2013)

ODB-Score



# オープンデータ三要件

ジュリスト2014年3月号奥村記事参照

# オープンデータ三要件

## ➤ 1. オープンデータを政府のデフォルトにする

民主主義の深化、  
政府の効率・効果追求、  
イノベーションの観点から、  
政府の持つデータの公開・再利用をデフォルトにする

<環境整備原則> [Open Knowledge Foundationのサイト](#)にもあり

## ➤ 2. 法的オープン性を確保する

## ➤ 3. 技術的オープン性を確保する

ジュリスト2014年3月号奥村記事参照

# 法的オープン性 著作権の縛りからの開放

オープンデータを担保するために法的な裏付けを行う

方策	課題
1. パブリックドメイン化	著作権の枠外とするための著作権法改正
2. 国の著作権の放棄	権利放棄に伴う課題のチェック必要
3. 二次利用促進のための利用条件 (オープンライセンス)の採用	著作権の一部の不行使を宣言したライセンスを採用

日本政府の方針 → 3. で当面对応  
クリエイティブ・コモンズ・ライセンス、  
CC-BYを採用

長期的には → 1. がよい  
著作権法改正で対処すべき

ジュリスト2014年3月号奥村記事参照

# 技術的オープン性

オープンデータを担保するために技術的な裏付けを行う

必要な要素	意味
機械が判読可能	コンピュータが直接処理できるようにしたデータ
オープンフォーマット	特定の企業・個人に依存しないフォーマット
バルクデータ	全データを一括してダウンロード可能

ジュリスト2014年3月号奥村記事参照

# 日本政府のオープンデータ 取組対応状況

取組項目	取組時期						合計	
	済(一部済を含む)	2013年度中	2014年度(一部を含む)	2015年秋から	未定	—		
ウェブ公開	49	0	0	1	1	2	53	
民主主義の視点	オープンライセンス★	4	9	36	1	1	2	53
	無料	49	0	0	1	1	2	53
	定期公開	48	0	0	1	2	2	53
技術的利用の利便性	機械判読★	47	0	0	1	3	2	53
	オープンフォーマット★	47	1	0	1	2	2	53
[1]	バルク	11	0	2	1	37	2	53
Tim Berners-Lee のいう三項目(★)ともクリア [2]	3	9	27	1	11	2	53	

[1] 民主主義の視点、技術的利用の利便性は筆者の分類による。

[2] WWW考案者のTim Bernard Leeがオープンデータの5つ星評価を提唱している。http://5stardata.info/ そのうち英国政府は三つ星を同国のデータカタログサイトであるdata.gov.ukの最低基準としている。この欄はこの基準を満たしたデータを数えたもの。https://www.gov.uk/service-manual/technology/open-data.html オープンライセンスは自由な二次利用、オープンフォーマットはnon-proprietaryなフォーマット、バルクは大量データの塊。



# オープンデータ分類体系(私案)

<b>民主主義にかかわるデータ</b>	<b>社会の質的向上にかかわるデータ</b>
<b>選挙結果、議会動向、法案提出・審議状況</b>	<b>気象、GPS、地理、自然現象</b>
<b>裁判関係</b>	<b>社会事象、経済事象(メッシュ)</b>
<b>政策や規制の制定根拠</b>	<b>健康医療</b>
<b>予算・決算、個別の予算支出状況と政策評価</b>	<b>個別の予算支出状況と政策評価</b>
<b>法律、規則、通達の網羅的提供</b>	<b>政府資金による研究成果</b>
<b>以上にかかる統計類を含む</b>	

# 市民参加型政策形成三要件

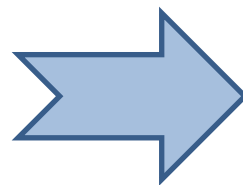
- ソーシャルネットワークの活用

- 意見収集の仕組

- 少ない意見 偏る意見

- 意見集約の仕組

- SNS上での集約の難しさ



媒介機能  
としての  
NPO育成